

■ 3/1 【2賞合同の記者発表会・報道資料】 ■ (2012年3月1日)

●こんにちは。EC研究会(NPO)／エコ研究所(NGO)／大賞実行委員会／合同事務局の土屋・関根・郷(スウ)・山崎です。

【I】今年で4回目を迎えた、『モバイルコマース・グランプリ』の受賞4社の顔ぶれとその【受賞理由】は下段の通りです。また、今年の応募総数(推薦を含む)は185件(前年比24%増)でした。

※今年の『モバイルコマース・グランプリ』の最大の特長は、(1)スマホなどのGPS機能をフルに活用した地域情報サイトと位置情報サービス2社が受賞していることです。

【II】今年・第1回目を迎えた、『メーカーECグランプリ』の受賞3社の顔ぶれとその【受賞理由】は下段の通りです。また、今年の応募総数(推薦を含む)は48件でした。

※『メーカーECグランプリ』今年・第1回目の最大の特長は、有名プロガーと組んでオリジナル商品を開発したり、店頭で製品のバーコードをスマホで読み取るだけで、同一商品の最安値をネットや実店舗のデータから検索できるなど、実社会での存在感をネット販売に活用していることです。

=====
【I】『モバイルコマース・グランプリ』(第4回)受賞4社:

■第4回『モバイルコマース・グランプリ』『大賞グランプリ』

ヤフー株式会社 代表取締役社長 井上 雅博殿

御社の地域情報サイト『ヤフー!ロコ』は、位置情報サービスとして国内最大の4200万人を超える利用者を持ち、多彩な提携戦略により多種多様で幅広い販促活動を展開。ネットとリアル、ネットと地域との新結合によるイノベーションを実現。ユーザー始め有識者の高い評価を得ています。

■第4回『モバイルコマース・グランプリ』 国際部門 『国際賞』

八楽(やらく)株式会社 代表取締役社長 坂西 優殿

御社が開発した、フェイスブック上の企業ページを10か国語に自動翻訳できる『ワールドジャンパーアプリ』は、月額5万円からというコストで、世界中の10億人以上の人々と平易な母国語でのコミュニケーションを実現。ユーザーだけでなく、有識者の高い評価を得ています。

■第4回『モバイルコマース・グランプリ』 地域部門 『地域振興賞』

KDDI株式会社 代表取締役社長 田中 孝司殿

御社と(株)コロプラが共同で開発した位置情報サービス『ジモトーク』は、地元地域やお出かけ先のクチコミ情報に絞り込んだ検索や情報の共有化ができ、また、店舗検索やランキング情報を活用できるなど、地域の人々との交流や商流を促せる点が、ユーザー始め有識者の高い評価を得ています。

■第4回『モバイルコマース・グランプリ』 ネット&リアル部門 『メディアミックス賞』

大日本印刷株式会社 代表取締役社長 北島 義俊殿

御社の電子チラシサービス『オリコミーオ!』は、スーパーなどのチラシチェックや価格比較がネット上で簡単にでき、掲載商品をそのままネットで買えるなど、お得なお買い物情報が簡単に手に入り、さらにその商品をネットで購入できる点がユーザー始め有識者の高い評価を得ています。

=====
【II】『メーカーECグランプリ』(第1回)受賞3社:

■第1回『メーカーECグランプリ』 オリジナル商品部門 『製造小売り（SPA）賞』

（株）サイバーエージェント 代表取締役社長CEO 藤田 晋殿

御社のソゾタウン向けの『アメンバーショップ』事業は、アメンバーブログの有名人ブロガーと組んで、洋服やバッグなどオリジナル商品を開発。両社サービスのユーザー2400万人を超える高い集客力と相乗効果を狙える点が、ユーザー始め有識者の高い評価を得ています。

■第1回『メーカーECグランプリ』 ボーカロイド部門 『国際賞』

クリプトン・フューチャー・メディア（株） 代表取締役 伊藤 博之殿

御社ボーカロイドの『初音ミク』は、今まで曖昧だったボーカロイドに関する権利を明確化し、ユーザーの楽曲や動画などの制作意欲を向上。またネットから火がつき世界に人気が拡大。グーグルやトヨタなど世界企業のCMにも登場するなど、世界中のユーザーや有識者の高い評価と愛着を得ています。

■第1回『メーカーECグランプリ』 価格比較アプリ部門 『パイオニア賞』

IMJグループ（株）コードスタート 代表取締役 川合 純一殿

御社の『ショッピッ!』は、店頭で製品のバーコードをスキャンして同一商品の最安値をネットや実店舗のデータから検索。店頭で現物を確認し、ネットでの購入を実現。また大手ECサイトのレビューを一括掲示する機能もあるなど、ユーザーや有識者の高い評価を得ています。

- 【記者発表会】終了後、当ビル2階の展示ホールDのD会場で、（2）【2賞合同の授賞式】（14：40～15：10）と、（3）【記念シンポジウム（鼎談）】（15：10～15：45）が、引き続き開催されます。ぜひご取材ください。
- 【記念シンポジウム（鼎談）】の全体テーマは、『スマホ&HEMS（ヘムス）時代に即応、つながる家電・自動車・住宅とEC&ネットビジネスの再定義』です。
- 鼎談（3人の座談）の出席者は下段の通りです。

◆ゲスト：早稲田大学 大学院教授 根来 龍之氏

（早大IT戦略研究所 所長 早大大学院ビジネススクール教授）

◆ゲスト：（株）アイ・オー・データ機器 事業戦略部 コンシューマ戦略課 課長 山崎 義彦氏

◆コーディネーター：EC研究会／エコ研究所 代表 土屋 憲太郎

（『情報経済新聞』／『環境経済新聞』 編集長）

●以上、よろしくお願いいたします。

『EC研究会』（NPO）／6賞合同事務局／『情報経済新聞』編集部／代表・土屋憲太郎・関根・郷（スウ）・山崎ほか。〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-11-4 原口ビル6F（半蔵門線・神保町駅A1・徒歩3分、新集英社ビルの並び）

TEL：03-3515-7175 FAX：03-3515-7176

eメール：ecken@ceres.ocn.ne.jp HP：<http://ecken.jp/>